

【理念】

- ① 観光の手段によって地域を活性化し、自分たちの生活の場として**次世代に自信を持って引き継ぐことのできる白馬村**を実現します。
- ② 観光の視点で地域の魅力をさらに磨き上げ、**高い誇りを持って世界中からの来訪者を迎えることのできる白馬村**を実現します。
- ③ **旅行者にとって『何度でも訪れたい／ここに留まりたい白馬村』**、生活者にとって『ずっと住み続けたい白馬村』、村外に転出した次世代の若者も『いつか帰りたい白馬村』を目指します。
- ④ オリンピック開催経験を有する白馬村として村民がそれぞれの立場で**「世界水準」を意識して来訪者を受け入れます。**

指標	理念該当箇所 ／調査対象	現状値 (2020(令和2)年度)	目標値 (2025(令和7)年度)
白馬村を観光地として魅力があると回答した人 (白馬村「観光・交流に関する住民意識調査」)	①／住民	65.5% (とてもそう思う 19.9% + そう思う 43.6%) ※2014年時点	70%
白馬村に住み続けたいと思うか (白馬村「観光・交流に関する住民意識調査」)	③／住民	62.5% (とてもそう思う 16.3% + そう思う 46.2%) ※2014年時点	70%
紹介意向(ロイヤルティ) (白馬村来訪者調査)	②／来訪者	夏季：53.0% 冬季：42.2% (10段階のうち9-10の選択者)	60.0% (夏季・冬季)
旅行消費額(1人あたり平均) (白馬村来訪者調査)	②／来訪者	夏季：23,511円 冬季：33,852円 ※夏季は(人/日)、冬季は(人/回)	37,355円 (夏季・冬季) (2019年の国内平均)
滞在時間・滞在日数 (白馬村来訪者調査)	②／来訪者	夏季：1.47泊 冬季：1.88泊	夏季：1.5泊 冬季：2.0泊
観光産業(宿泊業・飲食サービス業)の売上高 (白馬村の経済産業構造分析)	③／事業者	11,330百万円 (2016年)	15,530百万円 (2012-16の増加率+αで設定)
観光産業の域内調達率 (白馬村の経済産業構造分析)	①／事業者	宿泊業：48.89% 飲食サービス： 58.96%	宿泊業：54% 飲食サービス：64%
次世代への仕事の承継希望 (宿泊事業者実態調査)	②／事業者	34.4% (無回答除) (とてもそう思う 13%+ そう思う 21.4%)	50.0%
宿泊業の労働生産性(=付加価値額÷従業員数) (白馬村の経済産業構造分析)	②／事業者	1,696千円/人 (2016年)	3,389千円/人 (2016年の長野県平均値)